

研究主題 学習指導要領における性に関する指導 ～副主題：指導内容の検討と実践～

I 団体の概要

昭和50年に、高等学校生徒の性教育の在り方、進め方に関する実践的な研究及び生徒の健全育成に関する研究を行うことを目的として設立された研究会である。保健体育科教員や養護教諭だけでなく、多くの教科の教員も所属し、多面的に研究を行っている。

II 研究の目的

令和4年度より完全実施された学習指導要領を踏まえ、教科・科目、特別活動及び総合的な探究の時間において、性に関する指導を行う上での指導内容の検討及び実践を行う。

III 研究の内容

目的を達成するために以下の項目について研究を行う。

- ・研究協議会の開催（調査研究・情報収集・実践事例研究）
- ・公開授業の開催
- ・講演会及び研修会の実施（最新の知見の習得・指導事例の検討・普及啓発）
- ・アンケート調査の実施

また、研究結果等を積極的に公開し、普及啓発に努めている。

- ・研究会会誌の発行（活動内容の総括・紀要の発行）
- ・ホームページの公開 (<https://www.tokyokouseiken.com/>)

IV 取組と活動状況

- 1 総会…活動方針の決定、予定の確認 5/20（小川高校）
- 2 研究協議会…情報収集と研究協議
5/20（小川高校） 6/24（稔ヶ丘高校）
7/22（東高校） 10/14（稔ヶ丘高校）
11/25（小川高校） 1/13（東高校）
3/23（小川高校）
- 3 夏季研究協議会…講演および実践発表と研究協議
8/21（国立オリンピック記念青少年総合センター）
- 4 第51回全国性教育研究大会熊本大会…講演および実践発表
8/4、5（熊本市市民会館）
- 5 東京都性教育研究会40周年記念実践報告会
12/2（日本教育会館）
- 6 公開授業…多様な心の性に関する指導 12/21（東高校）
- 7 講演会…外部講師による講演 2/24

V 成果と課題

学習指導要領の趣旨を踏まえ、東京都教育委員会から平成31年3月に改訂された「性教育の手引」に基づき、人権意識の向上や生徒の健康に関する意志決定及び行動選択についての指導方法の検討や公開授業を開催している。定期的に開催している研究協議会には、他校種の教員も集まり、活発に協議を実施している。

また、熊本県で開催された全国性教育研究大会では、高等学校分科会での発表を行うことができた。

令和4年12月に改訂された「生徒指導提要」には、「第12章 性に関する課題」という章があり、「性犯罪・性暴力対策の強化」や「生命（いのち）の安全教育」、「性的マイノリティに関する理解」などが課題として挙げられており、現代社会における性の課題が多岐にわたることが分かる。これらはSNS等の普及による新たな問題への対策にとどまらず、人権や尊厳に関するより一層の理解が必要不可欠であることを示している。

性に関する授業実践や、講演は、スポットで実施されることが多い。今年度の全国性教育研究大会では、「多様な課題を受け止め、豊かに生き抜く力を育む性教育は、人生の『羅針盤』となる」と明記されている。各学校において、どのように発達の段階を踏まえ、学校全体で共通理解を図り、集団指導と個別指導の区別をした上で計画的に実施するのか。指導計画の作成や組織的な対応の具体例のモデルとなるものが重要になると考えられる。

性教育の重要性は、社会全体に浸透しつつあると思われる。実践事例を積み上げつつ、いかに組織的に取り組むのが今後の課題である。

VI 今年度の研究協議の主な内容

- ・性的マイノリティの生徒と生きづらさ（報道資料）
- ・「ボディポジティブ」の概念を用いた「食事と健康」の授業
- ・「思春期の心とからだの健康について」（プライベートゾーン、プライベートパーツ、コミュニケーション、DVチェッカー）
- ・「経験から見つめた学びの連続性等」の講演
- ・生命（いのち）の安全教育の実践に向けて確認しておきたい「包括的性教育」
- ・「射精責任」（著・ガブリエル・ブレア 訳・村井理子 太田出版）を活用した最新の知見の獲得
- ・教科「政治経済」における外部講師を活用した性的同意に関する授業実践
- ・教科「保健」における水の実験を活用した性感染症とその予防に関する授業実践

<令和5年度連絡先>

団体名		東京都高等学校性教育研究会	
代表者	所属	東京都立小川高等学校	
	職氏名	校長 山田 智美	
	連絡先	042-796-9301	
事務局	所属	東京都立東高等学校	
	職氏名	主任教諭 横 史明	
	連絡先	03-3644-7176	
団体ホームページ	URL	https://www.tokyokouseikei.com/	二次元コード
			